

西南学院大学大学院・文学研究科

英文学専攻・履修モデル

文学研究科英文学専攻博士課程（前期及び後期）の教育・研究は、下記4つの「専修」部門に共通して、英語を中心とする言語の高度な習得を目標としていますが、その基本的な語学力を前提とした上で、その上に、各「専修」部門での専門的な学習が乗かかっていると考えてください。学生便覧の「授業科目」一覧表における科目名については、前期課程の「・・・特殊研究」「・・・演習」また後期課程は「・・・研究指導」という形でしか掲載されていず、その具体的な中身については年度ごとの「シラバス」を閲覧していただかなければなりません。大まかに言って、例年、次のようなテーマ及びジャンルが提供されます。

I. 博士前期課程

(1)(2) イギリス文学専修・アメリカ文学専修部門

「イギリス文学特殊研究」「アメリカ文学特殊研究」「イギリス文学演習」「アメリカ文学演習」においては、イギリス・アイルランド及びアメリカを中心とした詩、Shakespeare を含む劇、小説そして文学・文化批評など。

(3) 英語学専修部門

「英語学特殊研究」と「英語学演習」においては、意味論、生成文法、応用言語学、英語教育学、社会言語学、歴史言語学、認知言語学など、多彩なテーマが提供されます。

(4) コミュニケーション学専修部門

「コミュニケーション学特殊研究」及び「コミュニケーション学演習」においても、「説得」のあり方、「組織コミュニケーション」「異文化コミュニケーション」「応用コミュニケーション学」「対人コミュニケーション論」「医療コミュニケーション論」など、この部門も多彩なテーマが提供されます。

皆さんは、それぞれが、いずれかの専修部門に属するわけで、ひたすら専修部門のみに専念して、知識を深めてゆくのも一つの選択のあり方（これをA型と呼んでおきます）ですが、定められた範囲のうちで、最大限度まで他の専修部門・或いは選択科目部門で開講されている科目を受講して、研究の視野を大きく広げて行くこと（同じく、B型）も可能です。恐らく、どちらか一方というわけでもなく、皆さんは、その両方、即ち「深く」「広く」の両方を常に意識しながら、研鑽を積んでください。（下の履修モデルには掲載していませんが、そのような学習と研鑽を積んだ上で、「修士論文」を作成するわけです。）

以上のことを考えながら、これまでの実例をも参考にして、以下、4つの専修部門における履修モデルを掲載しますが、あくまでもこれは参考資料でありますので、皆さんは指導教授の先生とも相談しながら、自分に見合った履修をしてください。

モデル・ケース（1）

（1）イギリス文学専修部門〔（2）アメリカ専修部門は、以下の科目名のうちの「イギリス」を「アメリカ」と、また「アメリカ」は「イギリス」と読み代えてください。〕

| | | 専修科目(単位) (16単位必修) | | 選択科目(単位) | | 他研究科提供科目(単位) (8単位まで修得可能) | | |
|------|--------|----------------------|------------|-------------------|-------------------|-----------------------------|------------|------|
| (A型) | 1年次 | イギリス文学演習I | 4 | アメリカ文学特殊研究I | 2 | | | |
| | | イギリス文学演習III | 4 | アメリカ文学特殊研究III | 2 | | | |
| | | イギリス文学特殊研究I | 2 | アメリカ文学特殊研究V | 2 | | | |
| | | イギリス文学特殊研究III | 2 | コミュニケーション学特殊研究III | 2 | | | |
| | | | | | 英語学特殊研究III | 2 | | |
| | 2年次 | イギリス文学演習II | 4 | アメリカ文学特殊研究II | 2 | | | |
| | | イギリス文学特殊研究II | 2 | | | | | (必修) |
| | (修得単位) | 18 単位 | | 12 単位 | | | | 30単位 |
| (B型) | 1年次 | イギリス文学演習I | 4 | アメリカ文学特殊研究I | 2 | 西洋美術史論特殊講義I | 2 | |
| | | イギリス文学演習III | 4 | | | 西洋文学特殊講義II | 2 | |
| | | イギリス文学特殊研究I | 2 | | | 美学・芸術学特殊講義I | 2 | |
| | | イギリス文学特殊研究III | 2 | | | | | |
| | | 2年次 | イギリス文学演習II | 4 | 英語学特殊研究III | 2 | フランス文学特殊研究 | |
| | | | | | コミュニケーション学特殊研究III | 2 | | (必修) |
| | (修得単位) | 16 単位 | | 6 単位 | | 8 単位 | | 30単位 |

モデル・ケース（２）

（３）英語学専修部門 [（４）コミュニケーション学専修部門は、以下の科目名のうち、「英語学」を「コミュニケーション学」と、また「コミュニケーション学」を「英語学」と読み替えてください。]

| | | 専修科目(単位) (16単位必修) | | 選択科目(単位) | | 他研究科提供科目(単位) (8単位まで修得可能) | | |
|------|--------|----------------------|---------|-------------------|-------------------|-----------------------------|---------------|------|
| (A型) | 1年次 | 英語学演習I | 4 | コミュニケーション学特殊研究I | 2 | | | |
| | | 英語学演習III | 4 | コミュニケーション学特殊研究III | 2 | | | |
| | | 英語学特殊研究I | 2 | イギリス文学特殊研究I | 2 | | | |
| | | 英語学特殊研究III | 2 | アメリカ文学特殊研究III | 2 | | | |
| | | | | | アメリカ文学特殊研究IV | 2 | | |
| | 2年次 | 英語学演習II | 4 | コミュニケーション学特殊研究II | 2 | | | |
| | | 英語学特殊研究V | 2 | | | | | (必修) |
| | (修得単位) | 18 単位 | | 12 単位 | | | | 30単位 |
| (B型) | 1年次 | 英語学演習I | 4 | コミュニケーション学特殊研究I | 2 | 国際ビジネス論特殊講義 | 2 | |
| | | 英語学演習III | 4 | | | フランス思想特殊研究II | 2 | |
| | | 英語学特殊研究I | 2 | | | 美学・芸術学特殊講義I | 2 | |
| | | 英語学特殊研究III | 2 | | | | | |
| | | 2年次 | 英語学演習II | 4 | コミュニケーション学特殊研究III | 2 | 表象メディア論特殊講義II | |
| | | | | コミュニケーション学特殊研究V | 2 | | | (必修) |
| | (修得単位) | 16 単位 | | 6 単位 | | 8 単位 | | 30単位 |

II. 博士後期課程

後期課程では、各専修部門共通して、学生は専修科目の「研究指導」（４単位）を週１コマ以上受けて、各学年に４単位、３年間に渡って合計１２単位を修得しなければなりません。その内訳は、「イギリス文学研究指導」「アメリカ文学研究指導」「英語学研究指導」「コミュニケーション学研究指導」となっています。